

第1学年女子 保健体育科 学習指導案

1 単元名 異性の尊重と性情報への対処

2 単元の目標

- ・心身の機能の発達と心の健康と思春期に起こる心の変化、性情報への対処の学習を通して、自己のコントロールや異性の尊重について、理解を深めようとする。
〔関心・意欲・態度〕

- ・自分自身の考えと他者の考えを比較して他者を理解し、集団生活での人間関係を見つめ直し、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。
〔思考・判断・表現〕

- ・身体的な成熟に伴う性衝動への適切な対応や異性・同性への思いやりの気持ちについて、理解を深める。
〔知識・理解〕

3 単元計画（全3時間）

次	時	主な学習活動 ☆協同的探究学習	協同的探究学習における	
			○ 指導内容	● 留意点
一	1	・体の発育・発達について、理解を深める。		
	2	・生殖機能の成熟期について、理解を深める。		
二	1 本時	☆異性の尊重と性情報への対処について、考えたことを話し合い、発表する。 ☆協同的探究学習	○人間関係のトラブルが多いことを理解しながら、適切な男女交際・人間関係をよりよくしていくためにはどのようにしていくのかを考える。 ●自分の思いを言葉で説明できるようにする。	

4 指導上の立場

○単元観

第二次成長期に伴う、身体機能の発達、生殖に関わる機能の成熟、精神機能の発達と自己形成、欲求やストレスへの対処など、外界の影響を受けやすい時期である。よりよい人間関係を作るためには、自分の気持ちを理解し、コントロールすることや、他者を尊重することが大切だと気付かせたい。

また、中・高生がSNS上でのトラブルに巻き込まれることが多くなってきている。SNSでのトラブルは誰でも起きてしまう危険なものだと理解し、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにしたい。

○生徒観（既習事項と身に付けている力）

生徒たちは、小学校の頃と違い、男女の違いをより強く実感し始める。それは、第二次成長期に伴う、体と心の発達が大きく関連している。

また、環境の変化も大きく関わっている。多くの中学生がスマホ・タブレットを使用していることが予想されるため、その正しい利用について考え、周りトラブルにならないための適切な判断力や行動力を身に付けさせたい。

○指導観（協同的探究学習場面の位置付けとそのねらいについて）

本時までの心身の機能の発達の理解を踏まえて、協同的探究学習を行う。

本時では、自他共に考えが違うことを理解して、適切な人間関係を作るために、お互いに尊重し合える関係を作るためには、どうすべきかを説明できることを目標に授業を進める。

個別探究の場面では、理由を考える時間を十分確保するために、正しい男女交際に必要なキーワードを示しておく工夫を行う。協同探究の場面では、各グループの発表内容の間で似ている考え方や共通していることがないか考えさせることで、本時の本質に迫りたい。

5 本時案（第二次 第1時）

(1) 本時の目標（わかる学力）

自他共に考えが違うことを理解して、適切な人間関係を作るために、お互いに尊重し合える関係を作るためには、どうすべきかを説明できる。

(2) 展 開

学習活動	教師の支援
前提問題 ・自分が異性に望むことはどのようなことか 考え記入する。	
導入問題 ・正しい男女交際をするために一番必要だと思 っていることを考え理由もつけて説明し よう。	導入問題のポイント ・前提問題で考えたこと、異性との関わりで生 まれるドキドキ感、楽しさや嬉しさを踏まえて、 異性との関係をどう築いていくかを考える。
個別探究 ・ワークシートにある、正しい男女交際に必 要なキーワードを選び、その理由を考えて いく。 【予想される生徒の記述例】 ○顔がとにかくい。 →一緒にいて癒やされる。 ○一緒にいて面白い →面白いとあきない。笑顔で過ごせる。	考えを引き出す工夫 ・生徒が理由を考える時間を十分確保するた めに、あらかじめキーワードを示しておく。
協同探究 ・3～5人グループを作り、自分が1番必要 だと考えるキーワードと理由を発表し合う。 ・ホワイトボードに意見を書き出す。貼るこ とで視覚化させる。 ・各グループの代表が出た意見を全体に発表 し、共有する。 【関連付け発問】 ○同じキーワードを選んだ生徒たちに理由 を問い、似ている点や異なる点を考えさ せる。 【予想される生徒の考え】 ○すごく思いやりの気持ちがある 理由・・・互いを大切にできる。	発表 ・ホワイトボードに貼ったキーワードを元に、 グループでの話し合いで出た意見を、グルー プ代表が発表する。 関連付け ・各グループの発表内容の間で似ている考え方や 共通していることがないか考えさせる。 本質追究 ・異性への関心が高まったり、性衝動が生じたり するのは自然なことであるが、人間としてお互 いに尊重し合い励まし合える関係を築くことが 大切であると気づかせる。 ・自分中心の意見になっていないか、自分自身を コントロールできているかを考える。
展開問題 ・自分が理想とする異性から、自分が望ま ないことをされそうになったらどうする。 ○（束縛）すぐに連絡をほしがる。 ○（性） 性行為を求める。 ○（DV） 暴力行為を行う。 →断り方や断る理由を他者に伝えることが できるかどうか見取る。	展開問題のポイント ・前回の授業で、人間関係での悩みをグラフで取 り上げていることから、異性との関わりは、楽 しいだけではないことがわかる。また、実例の トラブルについて考えやすくなる。
評価 A基準： 自他共に考えが違うことを理解して、適切な人間関係を作るために、お互いに尊重し合える 関係を作るためには、どうすべきかを説明できる。 B基準： 適切な人間関係を作るために、お互いに尊重し合える関係を作るためには、どうすべきかを 説明できる。	